

# 22年ぶり中国大会へ

レイダース県代表に

町内で活動している軟式野球チーム、町体協レイダース（小谷順万代表）が、9月28日から30日まで県西部で開かれる第40回中国五県軟式野球大会に県代表として出場することになりました。

これは、県西部地区予選での成績が認められたもので、レイダースが県代表に選ばれたのは22年ぶりのこと。中国五県軟式野球大会は、米子市民球場（米子市）と西伯カントリーパーク（南部町）で開かれます。どうぞご声援ください。

# おしらせ

Information

平成19年度海上保安大学校  
学生募集

受験資格等 昭和62年4月2日以降に生まれた人で、高等学校、中等教育学校卒業者及び来春卒業見込みの人。高等専門学校第3学年修了者及び来春修了見込みの人。高等学校卒業程度認定試験（廃止前の大学入学資格検定を含む）合格者  
採用予定数 約45人  
受付期間 8月30日～9月11日

第1次試験日 11月3日（土）・4日（日）  
第1次試験地 全国39か所（鳥取県の最寄りの試験地は、米子市、神戸市または広島市）  
試験方法（第1次試験） 学科試験（多枝選択式）、教養試験（多枝選択式）、学科試験（記述式）  
申込・問合せ 境海上保安部管理課（〒684 0034 境港市昭和町9 1、電話0859 42 2532）

# 納税組合長会議を開きました



町長から感謝状が贈られる

8月1日、町役場で納税組合長会議を開きました。はじめに、35年にわたり納税組合長を務められた西村行認さん（根雨）、15年務められた梅林勤さん（金持）、5年務められた岩本真喜代さん（高尾）、稲田巧さん（黒坂）と福田和也さん（黒坂）に感謝状を贈りました。その後、納税組合に関する、町税などの改正点などについて、住民課から次のとおり説明しました。

## 主な説明事項

納税組合報奨金の率について、平成19年度は年度内納付100%の組合は2.5%、100%未満の組合は0.7%となります。

平成18年度の徴税収納状況と平成19年度の徴税賦課状況についてそれぞれ説明しました。

町税などの主な改正点について

町県民税 = 所得割の税率を10%に統一  
定率減税を廃止（7.5% 廃止）  
国民健康保険税 = 医療分限度額を変更  
（53万円 56万円）

詳しくは役場住民課（電話72 - 0333）まで

## 教育委員会からのお知らせ 第8回町教育委員会開催

8月3日、第8回の町教育委員会を開き、報告や協議を行いました。

小中学校の耐震診断状況

小中学校校舎の2次診断の状況を町のホームページで近いうちに公表するよう協議しました。

町民ミュージカルの経過を報告

町民ミュージカル実行委員会（田口享会長）主催の町民ミュージカル「神々の詩」を、12月16日（日）に公演します。

事業費については、町や団体からの補助金、町民ミュージカルを応援する100人の会の会費、入場料などを充てています。現在、子どもから大人までの出演者34人が練習に汗を流しています。応援してください。

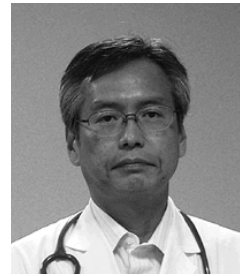
「白つつじの会」生田長江顕彰会

昨年、とっとりの文化芸術探訪事業として、貝原出身の文芸評論家・生田長江の講座などを開いたところ多くの反響があり、この顕彰事業を引き継ごうと「白つつじの会」が結成されました。

年に2回ぐらいの講座を考えています。趣旨に賛同いただける人は町図書館（電話72 - 1300）までお問合せください。

病院長のひとりごと

看護師不足について



日野病院長 櫃田 豊

これから2回にわたって日野病院にとって大きな問題である看護師不足についてお話ししたいと思います。

ご承知のように、看護師不足は医師不足と同様に全国的な問題でもあります(医療先進国のアメリカでも深刻な状況が伝えられていることから、世界的な問題と言っても過言ではありません)。わが国における看護師不足の主な原因としては、病床数の多さ、看護業務の拡大、離職率の上昇、採用困難が挙げられています。病床数の多さ:表1に示しましたように、日本の人口あたり看護職員数はほぼ世界標準にありますが、病床数は世界標準の2~5倍も多いとのことです。すなわち、日本の看護職員は他の先進国に比較して数倍の患者さんの看護に

表1

国名	人口千人あたり 病床数	病床百床あたり 看護職員数	人口千人あたり 看護職員数	平均 在院日数
日本	14.3	54 (2002年)	7.8 (2002年)	36.4
ドイツ	8.9 (2002年)	108.6 (2002年)	9.7 (2002年)	10.9 (2002年)
フランス	7.7	91.1 (2002年)	7.3 (2002年)	13.4
イギリス	4.2	224 (2002年)	9.7 (2002年)	7.6
アメリカ	3.3	233 (2002年)	7.9 (2002年)	6.5

週刊医学会新聞第2675号より引用(一部改変)

あたっていることになるので

最近の厚生労働省の医療改革はこの病床数の適正化を目指したものであり、そのため医療費や在院日数の削減(政策目標)、社会的入院の排除(療養病床の再編)、医療施設間の連携と集約化(医療計画)地域における受け皿の整備(在宅療養支援診療所)が行われています。

看護業務の拡大:従来、看護師の主業務はベッドサイドで患者さんのケアを行うことでした。最近になり、医療の高度化・複雑化に伴う医療電子機器の取り扱いや、それを用いた観察、測定、種々の療養指導などの業務が加わり、看護師の負担は増えています。また、がん治療の分野などで専門的な知識や技術を必要とする診療介助も必要とされるようになり、1996年には専門看護師・認定看護師制度が始まっています。看護師の労働条件の悪化が懸念されるなか、2005年に日本医療労働組合連合会より衝撃的な「看護職員の労働実態調査」結果が報告されました。そのまとめを図1に示しました。配置人員の抜本改善をはじめとした緊急対策の必要性が指摘されています。

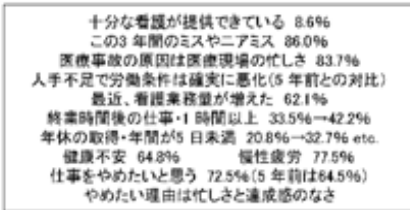


図1. 日本医療労働組合連合会「看護職員の労働実態調査第1次中間報告」のまとめ

離職率の上昇:看護師は女性が多いこともあり、結婚、出産、配偶者の転勤などで離職する機会は少なくありません。図2に看護師と一般労働者の離職率(年間の退職者数が職員数に占める割合)の推移を示しました。

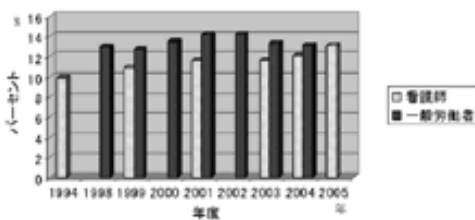


図2. 看護師の離職率の推移(一般労働者との比較)

数年前まで、看護師の離職率は一般労働者に比較して低値でしたが、最近になりじわじわと上昇し、2004年には一般労働者並の13.1%に達しています。上昇の理由は明らかではありませんが、看護現場の忙しさと無縁ではないと思われる。途中で職場を離れた看護師の職場復帰支援が、看護師不足への対策の1つとして注目されています。採用困難:看護師の需要と供給のアンバランスが指摘されて久しくなります。厚生労働省の「第六次看護職員需給見直し」をみて、このアンバランスが当分の間続くことは明らかです。同報告書では、看護職員の数が必要数は、2006年では4万2000人、2010年末でも1万5000人の供給不足が見込まれているのです。供給不足の原因は明らかで、厚生労働省が政策的に看護師養成数の増員を認めていないからです。

このような、いわば絶対数の不足に加えさらに採用を難しくしている原因として看護配置に関する診療報酬上の改定が挙げられます。看護師を従来よりも多く配置すると、病院収入が増える仕組みになったのです。その結果、特に大病院に看護必要度以上に看護師が偏在する可能性が出てきました。

以上のように、全国的な看護師不足には多くの原因が関与しています。そして、そのなかには地方の一病院がどんなに頑張っても解決できないものも含まれています。しかし、看護師の確保や定着につながるために個々の病院で労働環境や雇用条件を見直すことは可能です。

今回は、日野病院における看護師不足の現状と、私たちの対応についてお話しします。